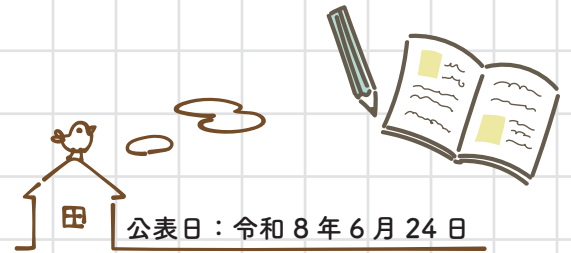


令和7年度

諫早市 COMPASS 児童発達支援センター
事業所における自己評価総括表(公表)



○事業所名	諫早市COMPASS児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 9日	～	令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 16名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日	～	令和8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 3名	(回答者数)	3名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 2月 9日	～	令和8年 3月 7日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数) 12施設	(回答数)	11施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(支援の充実) COMPASSでは全国に事業所を展開しており、横のつながりが強く、定期的に全事業所で会議を実施し、情報共有をおこなうことで、適切なアドバイスを受けることができる。	COMPASSでは保育所等訪問支援の意識を高めるため、専門性のある職員の知識と経験を活かし、事例やアプローチなど社内でも定期的な勉強会を実施している。	引き続き事業所間のつながりを大切に、勉強会や情報の共有・交換などをおこない職員の更なるスキルアップを目指す。
2	ご家庭との情報共有や連携を重視し、日々の様子や児童の成長を共有しながら支援をおこなっている。	アプリや対面で保護者様に訪問時の様子を共有するとともに、その内容を詳しくまとめた報告書を作成し、保護者様や訪問先施設の方と情報共有しております。	今後も保護者様や児童の困りごとや不安に寄り添いながら、より良い支援を目指してまいります。
3	児童発達支援センターと併設しており、通所サービスと保育所等訪問支援を併用して利用することができる。	通所利用時の様子を観察し把握することができるため、児童の特性を理解し、職員間で情報共有しながら支援をおこなっております。	今後も支援員だけでなく、併設の事業所全職員と情報共有しながら、より良い支援を目指してまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援の経験が不足している点が課題となっております。	保育所等訪問支援事業の初年度であったため、手探りの中で事業展開をおこなってまいりました。	定期的に法人がおこなう研修会に積極的に参加し、全国の事業所職員と情報共有し、スキルアップを図っております。
2	訪問先施設との連携が十分におこなえていない状況です。	保育所等支援事業の初年度であり、訪問先施設との連携や情報共有等について、改善の余地がある。	今後も、訪問先施設とより一層連携を深めていき、日程調整や情報共有を円滑におこなえるよう努めてまいります。
3	現在、保護者会を開催するなど、保護者様同士の交流の場を設けることはできておりません。	事業所の体制が整っておらず、保護者様の就業状況等の観点からも、開催にはいたっておりません。	今後は保護者様のご意向を伺いながら、必要に応じて開催の機会を検討してまいります。

